

平成29年度 北海道体育大会 第72回国民体育大会 体操競技 北海道選手選考会開催要項

- 1 主催 (公財)日本体育協会 (公財)北海道体育協会
- 2 後援 スポーツ庁 北海道
- 3 協賛 (公財)JKA
- 4 主管 北海道体操連盟
- 5 会場 道立野幌総合運動公園体育館(〒069-0832江別市西野幌481 TEL011-384-2166)
- 6 日程 平成29年8月26日(土)～27(日)

8月26日(土)	8月27日(日)
9:00～ セッティング	9:00～ 審判打合せ
9:30～ 審判会議	12:00～ 男子少年・成年公式練習
10:20～ 監督会議	12:20～ 女子少年・成年公式練習
11:00～ 開会式	13:00～ 男子少年決勝・成年競技
12:00～ 少年の部公式練習	13:20～ 女子少年決勝・成年競技
13:00～ 少年の部予選	※ 競技終了後カッティング
17:20～ 少年・成年の部公式練習 (～18:50)	15:30～ 理事会
	17:00～ 閉会式

※ 参加人数等により競技日程全体に変更がありますので、申込後調整し連絡いたします。

※ 器具セッティング・カッティングは、参加選手で行いますのでご協力願います。

7 競技方法

- (1) 少年男子の部：ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目の自由演技で予選を行う。予選15位までが決勝を行い、予選と決勝の合計得点で順位を決定する。
- (2) 少年女子の部：跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの4種目の自由演技で予選を行う。予選15位までが決勝を行う。予選と決勝の合計得点で順位を決定する。
- (3) 成年男子はゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目の自由演技を1回実施し、その合計得点で順位を決定する。
- (4) 成年女子は跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの4種目の自由演技を1回実施し、その合計得点で順位を決定する。
- (5) 少年決勝と成年は同時展開で競技を行う。

8 競技規則

- (1) 男子は2017年版採点規則適用。少年は高校適用規則を適用する。
- (2) 女子は2017年国民体育大会適用ルールを適用する。

9 表彰

- (1) 体操競技 個人総合1位には、優勝杯と賞状を、2位～6位には賞状を授与する。

10 参加資格

- (1) 本年度の選手登録手続きを完了し、本大会参加料を期日までに納入した者。
- (2) 一人の選手が、体操競技と新体操の両方に重複して出場することはできない。
- (3) 成年の部に出場する者は、平成11年4月1日以前に生まれた者。但し、大学生は成年に入る。年齢は、平成29年4月1日現在とする。
- (4) ふるさと選手制度
 - ① 成年種別：大会開催年4月1日現在、満18歳以上の者。
 - ② 卒業中学校もしくは卒業高等学校が北海道であること。
 - ③ ふるさと選手制度を活用して国民体育大会に参加する場合、別に定める参加手続きを進めなければならない。尚、「ふるさと」として登録した都道府県は変更できない。
 - ④ 詳細については国民体育大会ふるさと選手制度「ふるさと選手制度の考え方」参照のこと。

1.1 出場制限

- (1) 少年男女については、中学3年生以上の者。
- (2) 高校生は平成29年度北海道高等学校体操競技選手権大会一部にエントリーした者、または北海道体操連盟より推薦された者とする。
- (3) 成年については、制限しない。

1.2 国体選手選考方法

- (1) 競技終了後選考理事会において、第72回国民体育大会に派遣する選手を選考する。
- (2) 体操競技は各種別とも上位5名を国民体育大会北海道代表選手として選考する。ただし、国際大会参加等により本大会に出場できない選手がいる場合は、5名の中の下位の選手と入れ替えることとする。
- (3) 選考理事会で検討の結果、フルエントリーしないこともある。

1.3 申込方法

- (1) 所定の申込書に必要事項を記入し、期限までに下記申込先までメールで送信すること。同時に所属長が押印した正式申込書を郵送すること。
※ 申込書等の必要書類は北海道体操連盟のホームページにありますのでダウンロードして使用してください。
- (2) 抽選結果等の資料はEメールで配信するので、参加申込書に返信先Eメールアドレスを必ず記入すること。
- (3) 高校生以下については参加承諾書を申込と同時に提出すること。
- (4) 必ず所属長の承認を受け申し込むこと（所属長の承認印が必要）。
- (5) 申込先・締切期日
平成29年7月14日（金）必着。
〒069-8511 江別市文京台23番地 北翔大学 吉村 佳子 宛
TEL 011-386-9494 メールアドレス yoshikei@hokusho-u.ac.jp
- (6) 大会参加料一人4,300円は、大会当日本部に納入のこと（参加料には、日本体育協会の指示により、傷害保険料1,000円が含まれている。中学生も同じ）。
- (7) 申込者は、棄権・不参加に関わらず参加料を納入すること。
- (8) 日本体育協会では、予選より各監督も傷害保険に加入することになっております。従って各監督は保険料1,000円を本部に納入してください。
- (9) 参加申込について、所属名および氏名は日本体操協会に登録したものを使用すること。
 - ・所属団体名は正式名称（アルファベットの大きい文字・小さい文字の区別も明確に）を記載すること（学生は学校名）。
 - ・氏名の漢字についても登録したものを確認のうえ記入すること。

1.4 その他

- (1) ゼッケンは、中学生以下は縦10cm×横13cm、高校生以上は縦13cm×横18cmの白布地に、男子は黒、女子は赤字で各自用意すること。
- (2) 伴奏用器機・テープ・MD等は各自で用意すること。
- (3) 競技日程は、参加者数により、変更されることもありますのでご承知おき下さい。
- (4) 宿泊は各自で手配してください。
- (5) 監督は、審判・役員をお願いすることがありますので、ご協力下さい。
- (6) 大会期間中に発生した傷害については、その責任をスポーツ傷害保険の範囲とします。
なお、大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害保険や賠償保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- (7) 道内高校を卒業し成年に出場希望する者への要項配布や参加確認については、出身高校あるいはクラブの監督が連絡をとり、申し込みをすること。
- (8) 本大会参加者は北海道体操競技選手権大会「少年の部」「成年の部」の表彰も行う。ただし、少年の部は予選の結果を北海道体操選競技手権の順位とする。



この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。

<http://ringring-keirin.jp>